

11・2日比谷野音へ!

全学連(斎藤郁真委員長) 書記局通信

2014年10月24日
No.240

Tel 03-3651-4861
mail_cn001@zengakuren.jp
http://www.zengakuren.jp/

「12・6国会デモの爆発を!!」

10/21国際反戦デー(渋谷デモ)での斎藤委員長アピール

お疲れさまです。労働者・市民のみなさんとともに行動をうち抜けることを、本当にうれしく思います。

本日10月21日は、71年前にこのすぐ隣の明治神宮外苑競技場から10万人を超える学生が、学徒出陣で侵略戦争に送り込まれた、本当に許せない、悲しい日です。しかし今から48年前の今日は、全世界に希望を示した日です。帝国主義のベトナム侵略戦争に反対し、労働組合を中心に、日本で210万人がゼネラルストライキに突入し、それが全世界に広がって、アメリカの学生は徴兵カードを焼き捨て、沖縄の米軍基地の労働者は基地の中からのストライキでベトナム空爆を阻止し、それがベトナムの闘う民衆を勇気づけて、「世界最強」といわれた米軍を戦争遂行不可能に追い込み、ベトナム戦争を止めた。それが10月21日という日です。私たちは、歴史の転換点と言えるこの時代に、本日のような反戦行動を学生と労働者がともにうち抜くことができる、ここに本当に大きな意味があると思います。

アメリカは、イラク・シリアへの侵略戦争を本格的に開始しました。「自衛権」を掲げ、40カ国の「有志連合」でイラク・シリアへの空爆を繰り返しています。みなさん、私たちは歴史の教科書で「国連があるから二度と大戦争は起きない」と教えられてきました。しかし、40カ国の「有志連合」は「自衛権」を語れば世界の他の国々に空爆してもいい、こんなことが現に目の前でやられているじゃないですか! こんなこ



とを許していいんでしょうか! そもそも、「イスラム国」を生み出したのも、空爆をしている40カ国の「有志連合」の側です。「イスラム国」に武器を渡したのはアメリカです。イラクに戦争を行い、油田の権益を奪い、シーア派を徹底的に優遇する一方でスンニ派には油田の開発権をすべて禁止してきた。こういうかたちで、経済的に宗派対立を煽ってきたのはアメリカの側です。その結果、中東支配が破産して、その武器がアメリカに向けられた。いま起きてることは、たったそれだけのことです。これに対して空爆を行う、これが

司会は坂野陽平書記長!



11・2全国労働者総決起集会

世界の労働者と団結し、戦争と民営化の道を許すな!

今こそ闘う労働組合を全国の職場に!

11月2日(日) 正午 東京・日比谷野外音楽堂



【呼びかけ】全日本建設運輸連帯労働組合関西地区生コン支部、全国金属機械労働組合港合同、国鉄千葉動力車労働組合



東北大学学生自治会・青野弘明委員長！

「自衛」ですか！ ただの侵略に決まっているじゃないですか！
 この戦争に安倍政権が「有志連合」の一角として参戦する、
 と言っています。今年、イスラエルがパレスチナに空爆を行
 ったとき、日本の三菱重工がアメリカのレイセオン社とい
 う軍需会社を経由してミサイル部品を売りつけ、それがパ
 レスチナの空爆に使われました。これから、ますます同
 じことが進もうとしています。「日米安保ガイドライン」の
 再改定をもって、安倍政権は平常時も緊急時も「自衛権」
 を主張すれば、「地球の裏側」まで自衛隊を派遣することが
 できる「シームレスな(切れ目のない)日米安保体制」をつ
 くると言っています。憲法9条は、これをもって完全にな
 るろうとしている。私たちは絶対にこんなことを許すわけ
 にはいかない。私たち自身の行動で粉碎しなくちゃいけ
 ない。
 その最大の焦点は、私たちの日常の現場です。労働者で
 あれば職場であり、学生であれば自分たちのキャンパス
 です。今、学徒出陣・学徒動員は「経済的徴兵制」という
 かたちで行われようとしています。「奨学金を返済できな
 くなった学生は、待っていてもいい就職はできないから、
 自衛隊に



沖縄大学学生自治会・赤嶺知晃委員長！

2年間インターンシップにいけ。防衛省はやってもいいと
 言っている」、こういうことを日本学生支援機構、つまり奨
 学金を貸している当の組織の政策企画委員が文科省の会議
 で言っています。「カネが払えないなら、お前の命で払え」
 と、学生に対してこの国は言っている。私たちはこんな国
 のために死んではならないし、そのようなことを大学が迫
 るのであれば、今の大学の体制そのものをぶっつぶさな
 ければいけない。生きるために、声をあげるために、私
 たち自身の行動でひっくり返さなくちゃいけない。

「外へ向かった戦争」と「内へ向かった貧困」は、「経済
 的徴兵制」によく示されるように、完全に一つの問題です。
 戦争と貧困は一つの問題としてつながっています。1987
 年の国鉄分割・民営化以来、労働者に対して徹底的な賃下
 げ、外注化・非正規職化、労働条件が切り下げられるのと
 一体で、大学においては学費は上がり続け、学生は貧困に
 落ちてきました。そして、まさしく法政大学のあり方によ
 く表れているように、大学の中では学生自治が破壊され、
 自由にビラをまくこと一つできなくなってきた。労働者
 が叩き込まれてきた現実と、私たち学生が叩き込まれて
 きた現実、それは結局一つの問題で、私たちに戦争に動
 員するために、数十年にわたって続けられてきた政策の
 結果です。

だから今必要なことは、私たちが自分たちの現場から
 闘う力を甦らせなくちゃいけない。学生は学生自治会
 の再建に、徹底的に挑戦します。闘う労働運動と連帯し
 て、11月2日の労働者総決起集会を成功させ、学生自治
 会と労働組合、この二つの力で社会を取り戻すための闘
 いを、団結して行動していくための力を、ともに取り戻
 しましょう！

12月の日米安保ガイドライン再改定を粉碎する、12月
 10日の秘密保護法施行を粉碎する、集団的自衛権行使の
 関連法案を粉碎する、そして12月予定の消費税10%引
 き上げも粉碎して安倍政権を大衆的決起で打倒するた
 めに、12月6日の国会デモに、もう一度全学連は立ち
 ます！ 今日の行動を持ち帰って、自分たちのキャンパス
 からもっとも多くの学生を組織し、学生自治会を甦ら
 せ、安倍政権をぶっ飛ばす。この闘いに挑戦します。

もはや安倍政権はグラグラです。まともに政治をやる
 ことすらできない。その程度の閣僚しか彼にはもうい
 ない。これは、今の日本帝国主義のまぎれもない真実
 の姿です。私たちの行動で、必ず倒すことはできます！
 本日のデモを力強くうち抜いて、ともに10.21国際反
 戦デーを世界に轟く闘いにしていましょう！ 全世界
 の反戦運動とともに、戦争を本当に止める行動を、
 歴史を変える闘いをともに作りだしていましょ
 う！

【当面する行動方針】

●武田雄飛丸君「無期停学処分」撤回裁判・第7回弁論

11月5日(水) 13時半～ 東京地裁705号法廷にて

●武田雄飛丸君「暴行」でっち上げ裁判・第3回公判

11月7日(金) 13時半～ 東京地裁429号法廷にて

※傍聴券配布のため、13時までに裁判所入口脇に集合してください。

